



日本板硝子ビルディングプロダクツ株式会社
事業統括本部 商品企画グループリーダー
一級建築士

坪田 敏氏

簡単ガラスリフォームで暑さ対策、節電を

夏の暑さ、冬の寒さに負けぬ賢い窓ガラス

夏の暑さが特に厳しく感じられる昨今。ここ数年、暑さが続いたことに加え、近年の住宅の断熱・気密性の高さが影響していると考えられる。これまでのリフォーム用のガラスは、冬場の断熱性能をもとに比較してきたが、これからは、夏の遮熱性能も考慮して選んでいきたい。

遮熱と断熱で年中快適
バランスの良い真空ガラス

この「スペーシアクール」とはどのような商品だろうか。日本板硝子ビルディングプロダクツの坪田敏氏に話を伺った。

「もともと、スペーシア(旧名: スペーシアSTII)もLOWE層を設けており、日射熱のカット率は通常の一枚ガラスに比べて3倍*ほど高いのですが、夏の暑さに対する声もあり、今回、遮熱性能をさらに向上させた商品を開発することになりました」

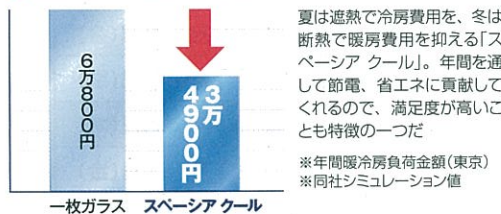
「スペーシアクール」は、スペーシアに比べて約1.5倍の日射熱カット率に加え、断熱性能も約17%、紫外線カット率も約10%アップしている*。LOWE膜の厚みや構成により、遮熱性能を調整します。ただし遮熱性能を高めると、ガラスの透明度(可視光透過率)が下がる傾向にあります

● 「一枚ガラス」と「スペーシアクール」の遮熱性能比較



断熱層でも止めることが困難な日射熱を、特殊な金属膜(Low-E膜)で遮る「スペーシアクール」。一枚ガラスの4倍以上*1の日射熱をカット
*数字が大きいほど遮熱性能に優れている

● エアコン代をしっかりセーブ



夏は遮熱で冷房費用を、冬は断熱で暖房費用を抑える「スペーシアクール」。年間を通して節電、省エネに貢献してくれるので、満足度が高いことも特徴の一つだ
*年間暖冷房負荷金額(東京)
*同社シミュレーション値

● 薄いからリフォームも簡単

もともとのサッシを活かしてガラス交換ができる「スペーシアクール」。シーリング材の代わりにオプションの取り付け専用グレチャンを使えば、ガラス1枚当たりわずか30分程度で交換ができる



が、「スペーシアクール」は可視光透過率を68%確保しています。庇などがしっかりしている窓には従来のスペーシアを、不快な直射日光が入ってくる窓には「スペーシアクール」と使い分けていただくことで、より心地よい環境になると思います」

一定の基準を満たした窓の断熱改修工事(10月31日着工分まで)へ5月1日以降は予約申し込み制)は「復興支援住宅エコポイント」の対象となるため、早めの検討をお勧めしたい。また、住宅ローンを利用して窓をリフォームした場合の減税優遇措置もある。詳しくは「ガラスワンダーランド」のホームページ*2で確認を。

*1 自社製品により比較 *2 <http://glass-wonderland.jp/>

日本板硝子ビルディングプロダクツ株式会社

〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-4 住友不動産東新橋ビル6号館1F
☎0120-498-023 (9:00~12:00、13:00~17:30(定休日:土・日・祝日))

<http://glass-wonderland.jp/>

お問い合わせ